

事務事業評価シート(平成27年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
55321	美術館運営事業	生涯学習課	美術館係	原 照代	福島 永
		一次評価年月日	平成 28 年 6 月 27 日	連絡先〔内線〕	43-0753
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		1065	美術館管理運営事業
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		1066	美術館特別展事業
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	5節	地域文化の保護と育成
		項〔基本施策〕	(コード選択)	3項	文化芸術活動の振興
		目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	文化芸術活動の促進
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
町内外の住民全般
②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。
人びとが身近に美術と出会い、親しむとともに、感性を磨き、創造的な広い視野を身につけ、生きる力を見出す
③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。
1 収蔵品や地域の文化資源を活用した展示や制作機会を提供するとともに、住民が参加する活動、子どもや障がい者等社会的弱者の表現活動を掘り起こす
2 館のミッションに基づいて作品の収集と保存、修復を進め、コレクションの充実を図る
3 住民が利用しやすく、安全な施設整備を進める
4

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)		
①	指標名	特別展、企画展の開催		回	3	5	5	1.00	5
	説明	展示会の開催		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	継続性と発展性が必要				
②	指標名	新たな作品の収集、保存、修復		件	3	3	3	1.00	3
	説明	作品の修復		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	計画的、継続的な取り組みが必要				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)		
①	指標名	特別展、企画展来場者の満足度		%	96	97	90		90
	説明	アンケートによる来場者の満足度調査		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	満足度向上を目指す				
②	指標名	修復作品の活用		件	3	3	3		3
	説明	常設展等での展示		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	館の基層的ミッションとして継続、充実を目指す				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成25年度 決算	平成26年度 決算	平成27年度 決算
		49,268	34,434	14,539
対前年比	%		69.9	42.2
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		4,583	1,934	1,870
B) 一般財源(税金)		44,685	32,500	12,669
①事業費	(千円)	38,050	23,418	12,178
対前年比	%		61.5	52
②人件費の概算		11,218	11,016	2,361
対前年比	%		98.2	21.4
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
		8,039	8,033	22
非常勤等職員(臨時職員)	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算シート)	3,000	2,983	2,339

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 来場者、参加者アンケート 美術館協議会
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 町公民館、近隣小中学校、福祉施設、住民団体等との連携事業や活動
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 社会福祉事業団、各住民グループ、パークホテル、湯にいくセンターほか

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	28年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
町外へ発信する郷土作家展事業を継続し、空家を利用した事業も引き続き町外の芸術家と住民との交流により町の魅力を再発見・発信する。今後も住民参加の展覧会等を実施するとともに、他分野との連携や地域性の高い事業を展開し、身近な美術館に向けて住民満足度の維持、向上を目指す。住民の創造的な利活用のため収蔵品の充実と利用しやすい施設整備を進める。	[反映内容] 特別展、郷土作家展、各ワークショップ等の開催 収蔵品の修復、展示室や排煙設備の改修

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
美術館の環境整備と利用者の満足度向上を図るため、施設改修を計画的にすすめる。また、郷土作家展などの特別展の開催や芸術家と地域住民の交流事業を充実させて、美術館及び町の魅力を発信する。また、再来館していただけるような企画やワークショップの開催などにより、利用者増を目指す。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記<今後の展開方針> a~e を選択